

平成30年 東広島市の主な出来事



目 次

平成30年

- ・ 市長就任 1
- ・ 待機児童対策本部を設置 2
- ・ 市長定例記者会見スタート 3
- ・ 平成30年7月豪雨災害の発生 4
- ・ 東広島市被災者生活サポートボランティアセンターの開設 5
- ・ 高垣市長と語る～わがまちNo.1ふるさと夢トーク～始まる 6
- ・ 平成30年7月豪雨災害復旧・復興プラン策定 7
- ・ 映画「恋のしずく」公開 8
- ・ 「東広島市職員行動理念」の策定 9

「市長就任」



前市長退任に伴う市長選挙が平成30年2月4日に実施された。高垣広徳氏（前広島県副知事）が初当選し、翌日の2月5日に本市にとって第5代目の市長として初登庁された。



「待機児童対策本部を設置」



平成32年4月の待機児童解消を目指し、平成30年3月に「待機児童対策本部（本部長：市長）」を設置するとともに保育課内に「待機児童対策室」を設置した。



保育コンシェルジュによる窓口対応

「市長定例記者会見スタート」



平成30年5月、市政に関する情報を市長自らが発信する場として毎月開催する記者会見を開始した。（令和2年12月現在、計37回、88項目）



「平成30年7月豪雨災害の発生」



平成30年7月5日からの豪雨により、経験のない災害となり、死者12名、行方不明者1名をはじめ、小中学校が臨時休校となるなど、市内全域に甚大な被害が発生した。

本市の災害の実情を、安倍首相に現地で説明し、早期の復旧・復興に向けた支援を要請した。

【平成30年7月豪雨の概要】

三津雨量観測（安芸津町）

累加雨量／521.0mm

（7/5 9時～7/8 19時）

最大時間雨量／67.0mm

（7/6 20時～7/6 21時）

【被害の概要】

全半壊・一部損壊住家 187件

床上・床下浸水住家 788件

道路 362件

河川 281件

農地 1,402件

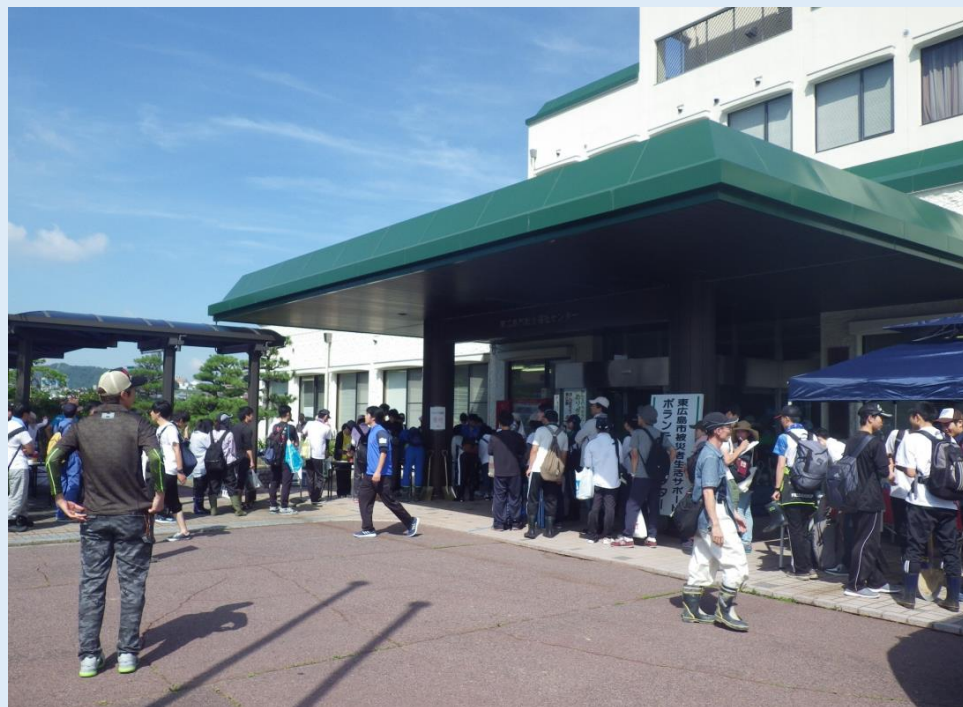


「東広島市被災者生活サポートボランティアセンターの開設」



平成30年7月豪雨災害の被災者支援のため、社会福祉法人東広島市社会福祉協議会が東広島市被災者生活サポートボランティアセンターを開設した。

期間：平成30年7月～9月 依頼件数：534件 ボランティア活動者数：延べ 6,043人
主な活動内容：土砂かき、災害ゴミ搬出、土嚢積み など



「高垣市長と語る ～わがまちNo.1・ふるさと夢トーク～ 始まる」



平成30年8月、市政に地域の声を反映させていくことを目的に、市長が住民自治協議会代表者と意見交換を行った。なお、第五次東広島市総合計画の策定にも、その意見を生かしていった。



将来のまちの方向性について講演



地域の課題についての意見交換

「平成30年7月豪雨災害復旧・復興プラン策定」



平成30年10月、今後市において展開していく支援策や公共施設の復旧等を取りまとめ、これらの事業を計画的に進めていくために3年間を計画期間とする「復旧・復興プラン」を策定した。

平成30年7月豪雨災害の復旧・復興プラン

基本方針

○市民の日常生活を早期に取り戻す。○産業基盤の再生を図る。○二次災害の防止とライフラインを確保する。

災害
復
旧
対
策
本
部

暮らしの再生

被災者の生活支援・再建

・こことからの相談支援、みなし仮設住宅の提供等

生活の環境整備

・市民生活の環境保全を図った災害廃棄物の処理

産業基盤の再生

地域経済の再生

・中小企業等グループ補助金等を活用した被災企業、事業所に対する支援等

農林水産業の再生

・農業経営を維持していくための補助金の活用等

インフラの再生

公共土木施設等の復旧

・計画的復旧に向けた取組方針等

農地・農業用施設・林道の復旧

・計画的復旧に向けた取組方針、受益者負担金の軽減や自主復旧に対する補助金制度の拡充等

上下水道施設の復旧

・計画的復旧に向けた取組方針等

これからの災害に強いまちづくり

・防災・減災につながる体制づくり

・治水対策・治山対策

・確実な交通網の整備

・通勤・通学手段の強靱化等

※国、県及び関係機関と連携を図りながら進めていきます。

「映画「恋のしずく」公開」



平成30年10月13日に広島先行公開、10月20日に全国公開され、本市も、本映画と連動して「SakeCity東広島」キャンペーンを実施し、「日本酒の宴in銀座」、「ロケ地マップの作成」等観光振興に関する様々な取組みを展開した。



「東広島市職員行動理念」の策定」



平成30年11月、理想とするまちのビジョンを全職員で共有し、組織の目指すべき姿を掲げ、それを実現するための基本的価値観として「東広島市職員行動理念」を策定した。この行動理念を徹底していくため、朝礼における唱和を行うとともに、ベストプラクティス賞を設けて、日々の実践を図った。

東広島市職員行動理念

1 使命



私たちは、
現在そして未来の市民の幸せのために、
変化する時代に、果敢に挑戦し、
地域が輝き、笑顔あふれ、愛され選ばれる東広島市を追求します。

2 価値観と行動指針



私たちは、東広島市を愛し、自らの仕事に誇りを持ちます。
私たちは、笑顔とあいさつを忘れず、公正公平、誠実に行動します。
私たちは、市民起点で、スピードとコストを意識し、成果を追求します。
私たちは、自己研鑽に励み、常にチャレンジ精神と情熱を持ち続けます。
私たちは、市民とのより深い信頼関係を築くために、積極的に意見を聴き、情報を発信します。
私たちは、職員相互に連携し、支え合い、風通しの良い組織を目指します。